

報告事項 1

2025 年度事業計画

公益目的事業

1 材料学に関する研究の進歩をはかり、もって学術の発展および技術の向上に寄与する事業

調査研究

1) 調査研究

委託研究：2025 年度も企業等機関から委託された材料学に関する個別の研究課題については当該分野を専門とする個人または研究グループによって調査研究および技術開発研究を推進していく。

2) 図書の出版、研究資料ならびにデータベース等の頒布

新たに発行する予定の出版物

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 「機械材料学第 5 版」(重版) | 本会発行 |
| (2) 「建設材料実験」(重版) | 本会発行 |
| (3) 「改訂 材料強度学」(重版) | 本会発行 |

学術集会・交流

1) 第 7 4 期学術講演会

2025 年 5 月 31 日, 6 月 1 日 (福 島)

特別講演

2025 年 5 月 31 日 (福 島)

講演題目：福島国際研究教育機構の創造的復興への挑戦(仮題)

講演者：山崎光悦氏(福島国際研究教育機構)

講演題目：廃棄物系バイオマス資源を活かした持続可能な機能性素材生産

講演者：北川尚美氏(東北大学)

2) 第 7 4 期学術講演会併設行事(公開部門委員会)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| (1) 疲労部門委員会「積層造形材の最新研究」 | 2025 年 5 月 30 日 (福 島) |
| (2) 高温強度部門委員会「高温強度とデータサイエンス」 | 2025 年 5 月 30 日 (福 島) |
| (3) 破壊力学部門委員会「観察・評価・解析手法に関する研究動向」 | 2025 年 5 月 30 日 (福 島) |
| (4) 衝撃部門委員会「衝撃工学への多様なアプローチ」 | 2025 年 5 月 30 日 (福 島) |

3) 材料 W E E K

2025 年 10 月 6 日～9 日, 京都テルサにおいて第 11 回材料 W E E K を開催する。

本部企画の材料シンポジウム(ワークショップ・若手学生研究発表会), 公開部門委員会, 部門主催のシンポジウム, 講習会など材料に関する学術集会行事を一堂に会して開催する。

4) 本会の主催による講習会、シンポジウム、セミナー等

- | | |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| (1) 第 10 回マルチスケール材料力学シンポジウム(国際シンポジウム)
(企画：マルチスケール材料力学部門委員会) | 2025 年 6 月初旬 (京 都) |
| (2) 第 59 回 X 線材料強度に関するシンポジウム
(企画：X 線材料強度部門委員会) | 2025 年 7 月 24 日, 25 日 (愛 知) |
| (3) 高温強度若手シンポジウム
(企画：高温強度部門委員会) | 2025 年 7 月 (仙 台) |
| (4) 第 55 回初心者のための有限要素法講習会 (第 1 部基礎コース) | 2025 年 7 月～8 月 (京 都) |
| (5) 第 55 回初心者のための有限要素法講習会 (第 2 部応用コース) | 2025 年 7 月～8 月 (神 戸) |
| (6) 第 11 回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー
(企画：信頼性工学部門委員会) | 2025 年 8 月 (未 定) |
| (7) 2025 年度 JCOM 若手シンポジウム
(企画：複合材料部門委員会) | 2025 年 8 月 (未 定) |
| (8) 第 45 回初心者のための疲労設計講習会 | 2025 年 8 月～9 月頃 (関 東) |

- (企画：疲労部門委員会，関東支部)
- (9) 第9回若手研究者および技術者のための高温強度講習会 2025年9月(兵庫)
(企画：高温強度部門委員会)
- (10) 第25回コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム
(企画：コンクリート工事用樹脂部門委員会) 2025年10月8日，9日(京都)
- (11) 第46回初心者のための疲労設計講習会 2025年10月(京都)
(企画：疲労部門委員会，関西支部)
- (12) 第10回フラクトグラフィシ講習会 2025年10月(京都)
(企画：フラクトグラフィ部門委員会)
- (13) 第22回破壊力学シンポジウム 2025年10月頃(京都)
(企画：破壊力学部門委員会)
- (14) 「高分子材料の耐久性および環境対応」に関する講習会 2025年11月(オンライン)
(企画：高分子材料部門委員会)
- (15) 第62回X線材料強度に関する討論会 2025年12月(未定)
(企画：X線材料強度部門委員会)
- (16) 第63回高温強度シンポジウム 2025年11月(山口)
(企画：高温強度部門委員会)
- (17) 第36回信頼性シンポジウム 2025年12月(関西)
(企画：信頼性工学部門委員会)
- (18) 第22回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会
(企画：マルチスケール材料力学部門委員会) 2025年12月～2026年1月(ハイブリッド)
- (19) 第17回日本複合材料会議(JCCM-17) 2026年3月(関西)
(企画：複合材料部門委員会)
- 5) 各支部の主催による講演会、講習会、シンポジウム、セミナー、見学会等
- <北海道支部>
- (1) 北海道内各地区講演会等 4回程度予定
- <東北支部>
- (1) 特別講演(日本材料学会第74期通常総会学術講演会) 2025年5月31日
- <関東支部>
- (1) シンポジウム 1回予定
(2) 講演と見学の会 3回予定
(3) 学生研究交流会 1回予定
- <東海支部>
- (1) 支部総会に併せた講演会 1回開催 4月
(2) イブニングセミナー 1回開催 7月
(3) 見学会・講演会 2回開催 9月、12月
(4) 支部学術講演会 2026年3月
- <北陸信越支部>
- (1) 講演会 5件予定 各県で1回開催予定
- <関西支部>
- (1) 講習会(予定回数3~4回)
「破壊力学の基礎と最新応用」(支部主催) 6月開催予定
「初心者のための疲労設計講習会」(支部共催)
「はじめての破壊力学」講習会(支部共催)
- (2) シンポジウムまたは講演会(予定回数1~2回)
「若手シンポジウム」
- (3) 見学会(予定回数1~2回)
- <中国支部>
- (1) 講習会
(2) 材料研究交流会 (2回開催予定)
(3) 特別講演会(外国人による講演を含む) (1回開催予定)

(4) 技術者養成講座

(適宜開催予定)

<四国支部>

(1) 第 22 回学術講演会

2025年4月(愛媛)

(2) 第 24 回先端技術懇談会

2025年10月(香川)

<九州支部>

(1) 講演会等

1件予定

6) 第 7 4 期に活動を予定している部門委員会

(1) 疲労部門委員会

第 361 回～365 回委員会

幹事会 2 回, 分科会 4 回

(2) PC 構造部門委員会

2025 年度第 1 回～4 回委員会

見学会 1 回

(3) 高分子材料部門委員会

第 202 回～204 回委員会

(4) 高温強度部門委員会

委員会 5 回

幹事会 3 回, 分科会 41 回

(5) X線材料強度部門委員会

第 211 回～213 回委員会

幹事会 3 回, 勉強会 9 回

(6) 木質材料部門委員会

第 318 回～320 回委員会

研究会 3 回

(7) 腐食防食部門委員会

第 360 回～365 回例会

幹事会 6 回

(8) 地盤改良部門委員会

第 338 回～341 回委員会

(9) 岩石力学部門委員会

第 256 回～259 回委員会

見学会 1 回

(10) コンクリート工事用樹脂部門委員会

委員会 4 回

小委員会 2 回

(11) 塑性工学部門委員会

委員会 5 回程度

幹事会 1 回

(12) コンクリート用材料部門委員会

委員会 3 回

幹事会 4 回, 見学会 1 回

(13) 複合材料部門委員会

第 287 回～290 回委員会

(14) フラクトグラフィ部門委員会

委員会 2 回

(15) 信頼性工学部門委員会

第 170 回～173 回委員会

幹事会 1 回

分科会 11 回

(16) 破壊力学部門委員会

第 185 回～187 回委員会

- (17)セラミック材料部門委員会
第164回～165回委員会
- (18)衝撃部門委員会
第177回～180回委員会
- (19)強度設計・安全性評価部門委員会
委員会3回
見学会1回
- (20)マルチスケール材料力学部門委員会
第74期第1回～3回委員会
- (21)半導体エレクトロニクス部門委員会
委員会4回（研究会3回）
幹事会4回
- (22)ナノ材料部門委員会
委員会3回
- (23)生体・医療材料部門委員会
委員会4回
幹事会4回
- (24)金属ガラス部門委員会
第60回～61回委員会，勉強会2回

7) 講師派遣

企画・広報委員会が中心となって実施していく予定である。

8) 関連学協会、関連団体との共催、協賛、後援

2025年度も関連学協会、関連団体等から依頼のあった講演会、シンポジウム等の共催、協賛、後援を行う予定である。

機関誌（会誌「材料」）の刊行

会誌「材料」の月刊発行を予定している。

第74巻 第4号（4月号）	特集	X線材料強度
第74巻 第5号（5月号）	特集	建設材料
第74巻 第6号（6月号）		
第74巻 第7号（7月号）	特集	木質材料
第74巻 第8号（8月号）	特集	解説記事特集号
第74巻 第9号（9月号）	特集	半導体エレクトロニクス
第74巻 第10号（10月号）	特集	解説記事特集号
第74巻 第11号（11月号）	特集	衝撃
第74巻 第12号（12月号）	特集	疲労
第75巻 第1号（1月号）	特集	地盤改良
第75巻 第2号（2月号）	特集	マルチスケール材料力学
第75巻 第3号（3月号）	特集	岩石力学・信頼性工学

表彰

令和6年度学会賞（論文賞・論文奨励賞・技術賞・学術奨励賞・学術貢献賞・支部功労賞）の授賞式は5月31日に行う予定である。

令和7年度学会賞（論文賞・論文奨励賞・技術賞・学術奨励賞・学術貢献賞）の募集は11月頃に行う予定である。

支部功労賞（令和7年度）については、支部から推薦のあった候補者を理事会において決定する。

第74期優秀講演発表賞については、第74期学術講演会において応募のあった講演を審査し受賞者を決定する予定である。

2 技能検定・認証事業

2025年度技能検定講習・技能検定試験を下記の日程で行う予定である。

<技能検定講習>

- ・硬さ試験・引張試験，疲労試験：2025年10月23日，10月24日（榎島津製作所）

<技能検定試験>

・硬さ試験・引張試験, 疲労試験: 2025年10月31日 (日本材料学会)

3 技術認証事業

材料学に関する広範な技術について個別技術を公平・中立かつ厳正に評価し、所定の規準を満足する技術についてはこれを本学会として認証し、当該技術の社会への応用を支援する。現在行われているのは地盤改良部門委員会による「地盤改良に関わる技術認証」である。2025年度は4件の更新を予定している。

[第1回更新]

第1017号 V-JET工法 (二重管式高圧噴射攪拌工法)

第1018号 pH調節型現場作液システムによる特殊シリカ系薬液注入技術

[第4回更新]

第1006号 DCS工法「相対攪拌式深層混合処理工法」

第1007号 ツイスター工法(回転式破碎混合工法)を用いた遮水土の製造技術

総会・理事会・事務関連など

- 1) 第74期通常総会 2025年5月31日 (郡山)
- 2) 理事会など
 - ・理事会: 年4回以上開催予定
 - ・運営委員会
 - ・支部懇談会、部門懇談会
- 3) 各支部の支部総会・常議員会
 - <北海道支部>
 - 1) 支部総会
2025年度支部総会および特別講演会 2025年10月下旬(札幌)
 - 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 2回
 - <東北支部>
 - 1) 支部総会
令和7年度支部総会および特別講演会 2026年3月末(未定)
 - 2) 常議員会あるいは幹事会
令和7年度常議員会 2026年3月末(未定)
 - <関東支部>
 - 1) 支部総会
第74期支部通常総会および特別講演会 2025年4月24日 (東京)
 - 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 6回
 - <東海支部>
 - 1) 支部総会
第62期支部総会および特別講演会 2025年4月 (愛知)
 - 2) 支部幹事会
支部幹事会 6回(4月、7月、9月、12月、3月、4月)
 - <北陸信越支部>
 - 1) 支部総会
第41期支部総会および特別講演会 2025年4~5月(長野)
 - 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 4~5月(長野)
幹事会 第1回: 4~5月(長野)
第2回: 11月(オンライン)
 - <関西支部>
 - 1) 支部総会

第74期支部総会	2025年4月17日(京 都)
2)常議員会あるいは幹事会	
常議員会	5回(4、6、9、11、3月)
幹事会	5回(4、6、9、11、3月)
<中国支部>	
1)支部総会	
第57期支部総会および特別講演会	2025年5月
2)幹事会	
3回開催(第1回:5月、第2回:11月、第3回:3月)	(岡 山)
<四国支部>	
1)支部総会	
第25期支部総会	2025年4月(愛 媛)
2)常議員会あるいは幹事会	
常議員会	3回開催
<九州支部>	
1)支部総会	
第62期支部総会および特別講演会	2025年12月
2)常議員会あるいは幹事会	
常議員会	2回開催
幹事会	5回開催

支部再編に向けて

本会には現在支部が9支部あるが、2023年から会員数減少や事務の効率化を考え将来に向けた支部再編の議論を開始した。現在、運営委員会や理事会、事務局を中心に具体的な検討を進めている状況である。今後、引き続き各支部の意見を聞きながら議論し、再編に向けての準備を進めていく予定である。